【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和4年4月18日(2022.4.18)

【国際公開番号】WO2021/131058
【出願番号】特願2021-566757(P2021-566757)
【国際特許分類】
H04N 19/593(2014.01)
H04N 19/119(2014.01)
H04N 19/157(2014.01)
H04N 19/176(2014.01)
【FI】
H04N 19/593
H04N 19/119
H04N 19/157
H04N 19/176

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月31日(2022.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
符号化データに含まれる符号化単位のブロックを非矩形の予測単位のブロックに区切るパーディションが前記符号化単位のブロック境界と交わる２つの分割節点のうち一方の分割節点の位置情報と、前記非矩形の予測単位のブロックでイントラ予測に用いられるイントラ予測モードの角度とに基づいて前記非矩形の予測単位のブロックの分割形状を算出する分割形状算出部と、
前記イントラ予測モードを用いて、前記分割形状に基づいて前記符号化単位のブロックが分割される非矩形の予測単位のブロックのイントラ予測を行うイントラ予測部と、
を有することを特徴とする復号装置。
【請求項２】
前記分割節点の位置情報は、前記符号化単位のブロックの左上の頂点から前記分割節点までブロックの境界上を探索して得られる距離であることを特徴とする請求項１に記載の復号装置。
【請求項３】
前記分割節点の位置情報は、前記イントラ予測が前記符号化単位のブロックの左隣接画素を参照する場合、前記符号化単位のブロックの左上の頂点から分割節点でブロックの境界上を反時計回りに探索して得られる距離であることを特徴とする請求項２に記載の復号装置。
【請求項４】
前記分割節点の位置情報は、前記イントラ予測が前記符号化単位のブロックの上隣接画素を参照する場合、前記符号化単位のブロックの左上の頂点から分割節点までブロックの境界上を時計回りに探索して得られる距離であることを特徴とする請求項２に記載の復号装置。
【請求項５】
符号化単位のブロックを非矩形の予測単位のブロックに区切るパーディションが前記符号

化単位のブロック境界と交わる２つの分割節点のうち一方の分割節点の位置情報を前記非矩形の予測単位のブロックでイントラ予測に用いられるイントラ予測モードの角度に基づいて算出する分割形状算出部と、
前記分割節点の位置情報を符号化する符号化部と、
を有することを特徴とする符号化装置。
【請求項６】
符号化データに含まれる符号化単位のブロックを非矩形の予測単位のブロックに区切るパーディションが前記符号化単位のブロック境界と交わる２つの分割節点のうち一方の分割節点の位置情報と、前記非矩形の予測単位のブロックでイントラ予測に用いられるイントラ予測モードの角度とに基づいて前記非矩形の予測単位のブロックの分割形状を算出し、
前記イントラ予測モードを用いて、前記分割形状に基づいて前記符号化単位のブロックが分割される非矩形の予測単位のブロックのイントラ予測を行う、
処理を実行することを特徴とする復号方法。
【請求項７】
符号化データに含まれる符号化単位のブロックを非矩形の予測単位のブロックに区切るパーディションが前記符号化単位のブロック境界と交わる２つの分割節点のうち一方の分割節点の位置情報と、前記非矩形の予測単位のブロックでイントラ予測に用いられるイントラ予測モードの角度とに基づいて前記非矩形の予測単位のブロックの分割形状を算出し、
前記イントラ予測モードを用いて、前記分割形状に基づいて前記符号化単位のブロックが分割される非矩形の予測単位のブロックのイントラ予測を行う、
処理をコンピュータに実行させることを特徴とする復号プログラム。